



# 雪崩・地すべり 研究センターたより

第66号  
2013.11月発行

Snow Avalanche and Landslide Research Center, Erosion and Sediment Control Research Group

**主な記事** ・平成25年7月29日～8月1日豪雨による斜面災害調査 ・トピックス(新潟県地すべり対策研究会技術部会、新潟県地すべり防止工事士会上越支部研修会など) ・ニュートンのリンゴの木

## 平成25年7月29日～8月1日豪雨による 斜面災害調査

7月26日～8月1日にかけて、新潟県で豪雨(新潟県与板維持管理事務所で29日～1日にかけて310mmの降水量を観測)による災害が発生しました。当センターでは、8月2日と6日に秋山所長、桂、丸山、木村、畠田が長岡市の被災地における現地調査を実施しました。



寺泊山田地区



乙吉地区



森上地区

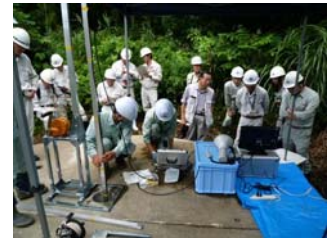
なお、8月2日は、新潟県の要請で地すべり対策研究会災害対策部会の一員として参加しました(詳細はトピックス参照)。この調査では、2日に寺泊山田地区、6日に乙吉地区と森上地区の斜面災害を調査しました。

## トピックス

### ■新潟県地すべり対策研究会技術部会

7月19日に、新潟県地すべり対策研究会の技術部会が開催され、新潟大学、新潟県地すべり防止工事士会、新潟県砂防ボランティア協会、新潟県(治山課、農地建設課、砂防課)、妙高砂防事務所、当センターから約30名が参加しました。今回の検討事項は、

地すべり地の地下水排除施設である集水井の維持管理のために、当センターが開発した集水井内点検カメラによる天蓋構造が改良された集水井内の観察及び、地すべり資料館で今回の検討事項についての意見交換が行われました。



### ■新潟県地すべり防止工事士会上越支部研修会

7月20日に、上越市で新潟県地すべり防止工事士会上越支部の研修会が開催されました。参加者は新潟県、建設会社、建設コンサルタントの職員約70名です。講演会では、新潟県砂防課の藤田地すべり係長が「地すべり対策研究会について」、当センターの丸山が「地すべり防止施設の維持管理について」と題して各々講演しました。



### ■新潟県治水砂防協会砂防功労者表彰

7月26日に、新潟市の新潟県自治会館で新潟県治水砂防協会の第80回定期総会が開催され、砂防功労者の表彰がありました。表彰は、砂防事業推進や調査・研究に功績のあった市町村長、国、県、市町村職員、地すべり巡視員などが対象になります。今回の表彰者は、元新潟県職員3名、元長岡市職員1名、地すべり巡視員2名、当センター前総括主任研究員丸山の合計7名でした。丸山の表彰は、長年の砂防事業に関する調査・研究の功績に対するものです。



### ■雪崩・地すべり研究推進協議会 妙高地区治水砂防協会 合同研究発表会

この研究発表会は、8月1日に新潟県妙高市で開催されました。発表では、妙高砂防事務所から



須江さんが「基礎調査の有効利用と改正土砂法について」、当センターからは池田が「地震で誘発された雪崩について」、畠田が「今春の新潟県、長野県の地すべり災害について」と題して各々発表しました。

### ■新潟県地すべり対策研究会災害対策部会「新潟県長岡市寺泊山田地区調査」

8月1日未明、新潟県長岡市寺泊山田地区で、豪雨により人家裏の斜面が崩壊し1名の犠牲者が出ました。8月2日に実施されたこの地区の調査には、新潟県(砂防課、治山課、農地建設課、長岡地域振興局)、日本地すべり学会新潟支部、国土交通省(国土技術政策総合研究所砂防研究室、北陸地方整備局)、NPO新潟県砂防ボランティア協会、新潟県地すべり防止工事士会、長岡市、山田自治会、建設コンサルタントの方々と、当センターの秋山所長、桂、木村、畠田が参加しました。調査後、崩壊の拡大、近隣斜面の崩壊の危険性について技術的指導、助言が行われました。災害調査報告書は、当センターホームページ(<http://www.pwri.go.jp/team/niigata/top.html>)に掲載してあります。

### ■日韓共同シンポジウム

8月22日に、長野市で日韓共同シンポジウムが開催されました。このシンポジウムは、平成20年から日韓相互の地すべり研究・技術の向上、及び研究者の交流と情報の交換を目的で開催されているものです。当センターからは、桂が「平成24年3月新潟県上越市板倉区国川地区で発生した地すべりの特徴」と題して発表しました。



### ■雪崩・地すべり防止技術セミナー

11月19日に、新潟県妙高市において「第7回雪崩・地すべり防止技術セミナー」が開催されました。セミナーでは、新潟大学災害・復興科学研究所河島准教授により「斜面積雪のグライド速度及び積雪層構造からみた全層雪崩の発生条件」と題して講演をいただきました。この他、地すべりチーム杉本主任研究員が「樹脂固定標本によるすべり面の微細構造の観察について」、当センターからは、秋山所長が「エチオピアの地すべり対策(アバイ溪谷)について」、伊東主任研究員が「2013年2月に栃木県北部で発生した地震による雪崩」を、それぞれ紹介しました。また、午後は、雪崩防止施設の視察をしました。



### ■学会研究発表会

8月29~30日に島根県松江市で日本地すべり学会研究発表会、9月17~21日に北海道北見市で日本雪氷学会研究大会、11



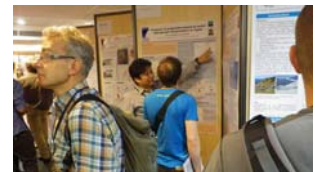
月20~22日に寒地技術シンポジウムが、それぞれ開催されました。当センターからは、表1に示す研究発表を行いました。また、当センターの秋山所長が、今回の日本雪氷学会研究大会で論文賞「論文名: Video and seismometer observations of avalanche characteristics in a warm snowy district」を授与されました。

表1 研究発表一覧表

学会名	タイトル	発表者
地すべり学会	融雪地すべりが長距離移動する条件の検討	木村 諒
	沖積扇状地表面で停止する地すべり土塊の堆積形状に関する考察	畠田和弘
	加熱式地下水検層による地すべり地の地下水調査事例	桂 真也
	地下水排除施設に設置した集水管閉塞防止装置の効果	秋山一弥
	地すべり地における間隙水圧と移動量に関する検討	丸山清輝
雪氷学会	Google Earth を利用した雪崩の判読と数値化について - 北アルプスにおける広域判読 -	秋山一弥
	映像観測で得られた雪崩サイズと発生数の関係	秋山一弥
	2013年02月25日発生の地震により日光市川俣の林道沿いに発生した雪崩	伊東靖彦
	含水状態と硬度に着目した斜面と平地の積雪の比較	池田慎二
	福島県檜枝岐村で発生した大規模雪崩による枝折れ高について	池田慎二
寒地技術シンポジウム	2013年2月に栃木県で発生した地震による雪崩	伊東靖彦
	平地と斜面の積雪における含水状態と積雪安定度の差異について	池田慎二
	雪崩の地形要素を用いた雪崩リスクの定量化に関する一試案	秋山一弥

### ■国際会議

9月26~27日に、砂防学会国際シンポジウム第3回大会が、京都府宇治市の京都大学防災研究所で開催されました。当センターからは、フランスでの発表は、木村が「日本国内の融雪地すべり災害事例を基にした地すべり到達距離予測の確率論的アプローチ」と題して発表しました。また、10月7~11日に、2013国際雪科学ワークショップがフランス共和国グルノーブルアルプエクスポで開催されました。当センターからは、池田が「Comparison of a snowpack on a slope and level ground by focusing on the effect of water infiltration」と「Features of avalanches based on aerial photograph interpretation in Japan」と題して発表しました。




### ニュートンのリンゴの木

写真は、9月25日の状況です。今冬の雪により枝が数本折れる被害が出ました。このため、リンゴは一部の枝にしか付きませんでした。



雪崩・地すべり研究センターに関する記事は、ホームページにも掲載してありますので、ご覧ください。

発行: 独立行政法人 土木研究所 つくば中央研究所  
土砂管理研究グループ 雪崩・地すべり研究センター   
住所: 〒944-0051 新潟県妙高市錦町2-6-8  
TEL:0255-72-4131 FAX:0255-72-9629 URL:<http://www.pwri.go.jp>  
掲載内容は現時点までの調査結果等に基づいています。今後の調査研究により内容の一部または全部に変更が生じる場合があることをご了承下さい。